



リンナイ  
株主通信

第20号

第54期事業報告書  
平成15年4月1日～  
平成16年3月31日



**Rinnai**  
<http://www.rinnai.co.jp/>

リンナイグループは「熱機器の総合・専門メーカー」として、各時代のニーズに応えた安全性と快適性の追求を使命と考えています。今後も当社グループは、21世紀における環境問題や省エネ、健康・高齢化を念頭に置き、ITを活用した技術力・販売力・財務力など安定した経営基盤をもとに「熱と住生活のインターフェースを創造・提案する企業」として、グローバルに活動を展開してまいります。



当社グループは、「環境・省エネ」「健康・高齢化」「利便性」などの社会的テーマを追求した付加価値の高い商品を提供しています。

## 目次

株主の皆さまへ	1
事業戦略のポイントと強み	4
商品開発力	5
グローバルネットワーク	6
リンナイピックアップ	7
営業のご報告（連結）	8
営業のご報告（単体）	10
会社データ	12
株式の状況	13

## 株主の皆さまへ



取締役会長 内藤 進(右)  
取締役社長 山崎 善郎(左)

## 時代に先駆けた製品・技術開発を通じて、 市場ニーズにお応えしてまいります。

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第54期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）における営業ならびに決算の概況と今後の戦略につきまして、以下に、皆さまからのご質問にお答えしつつご説明申し上げます。



平成16年3月期の貴社を取り巻く環境と貴社の概況を教えてください。

当業界におきましては、新設住宅着工戸数が4年ぶりにプラス成長に転じた反面、個人消費の低迷により買替需要に力強さがなく、電化とのエネルギー競争も一層激しさを増し、依然として市場獲得競争は熾烈な状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「熱機器の総合・専門メーカー」として、よりお客さまに近づいた商品開発、商品提案を積極的に進めてまいりました。商品開発では、安全性・機能性・美観性といった顧客ニーズの追求と、環境・省エネといった社会的テーマに対する取り組みを強化してまいりました。営業施策では、流通のお得意先と共同で「ためしてガス展」を全国的に開催し、よりお客さまに近づいた商品提案を実施いたしました。一方、全社的なコスト低減活動を推し進めると同時に、高付加価値商品に対する投資を積極的に行い、収益性の改善に努めました。

この結果、当期の業績につきましては、後記のとおりとなりました。

なお、配当金につきましては、当社の利益配分に関する基本方針に基づき、配当性向、株主資本利益率、財務状況などを総合的に勘案のうえ、中間配当金と同様に1株につき12円とし、年間では24円と前期に比べ4円の増配とさせていただきます。

Q 国内における中期的な戦略テーマを教えてください。

近年の住宅関連業界では堅調な新設住宅着工に加えて、リフォーム市場が活況を呈し、当社は国内における中期的な成長戦略として「買替需要を的確に確保する」ことをテーマとして掲げています。現在は「家に複数のガス機器」が使用される時代となり、商品は単品からシステムを中心とするものへと変化しています。当社は、業界に先駆けて販売と設置・施工を専門に行うリンナイテック各社を全国展開し、システムキッチンへのビルトインコンロ・レンジ、食器洗い乾燥機や床暖房、浴室乾燥暖房機などのシステム機器に対応する体制をいち早く整備しています。

Q 近年のヒット商品にはどのようなものがありますか？



高齢化が進む日本では、省エネ・利便性・安全性を追求した「質の高い住宅設備」を求める傾向が強まっています。当社は創業以来、「安全性」を商品開発の主要テーマとして掲げ、さまざまな安全機能を商品に搭載するほか、音声ナビ付給湯リモコンなど高齢化社会を意識した商品を数多く提供しています。さらに、近年のヒット商品には、厨房機器では内炎式バーナーを使用したガラストップのEGトップシリーズ、スライドオープンタイプの食器洗い乾燥機、給湯機器では床暖房、衣類乾燥にも使える浴室乾燥暖房機、空調機器では除菌イオン機能搭載ガスファンヒーターなどがあります。これらの高付加価値商品は、安全性や高効率性に加え、機能美や快適性、健康を求めるお客さまのニーズに合致したものであり、また市場においては収益性を維持しつつ当社の価格競争力を高めることに貢献しています。

Q 環境問題にはどのように取り組んでいるのですか？

当社は早くから「環境」を商品開発の主要テーマのひとつとして取り組んでまいりました。その成果として、省エネ法で特定機器に指定されたガスコンロ、給湯器等におけるエネルギー消費効率はトッランナー方式の平成18年度目標値に多くの商品が達しており、熱効率の高いコンデンス給湯機器や内炎式バーナー搭載のガラストップコンロが省エネ大賞を受賞しています。また、日本以上に環境意識の高い欧州でも当社の低NOx燃焼技術DECS燃焼用セラミックバーナーが採用されるなど、環境面の技術は国内外で高い評価を得ています。



海外ではどのようなテーマに注力しているのですか？



上海林内有限公司 浦東工場

リンナイは、平成18～20年度を見据えた中期目標としてグループ売上高2,900億円を目指しており、この目標を達成するために日本や韓国に加え、中国を戦略拠点と位置付けています。現在、中国では平成20年(2008年)の北京オリンピックや平成22年(2010年)の上海での万国博覧会に向けて、都市部の整備や住宅着工が急速に進んでいます。また、現在、着々と天然ガス化が進む日本と同様に、平成22年を目標とした天然ガス化に向けてエネルギー供給ラインの整備が行われています。このように本格的なガス機器導入の下地ができつつある中国市場において、当社は地域の特性や文化に合わせて北京以北を中心とする北部(華北)、上海を中心とした中央(華中)、広州など南部(華南)の3つのグループに分けて、異なる仕様の製品を主力として展開してまいります。生産拠点としては、当社の連結子会社である上海林内有限公司において給湯器をメインとする第1工場に加え、平成15年12月に厨房機器の生産を行う第2工場を完成したほか、平成15年7月、南部の広州市に現地のガス器具メーカーと上海林内有限公司との合弁による厨房機器の生産拠点として広州名海燃具電器有限公司を設立しました。



将来に向けた技術開発テーマを教えてください。

エネルギーの安定供給に向けて、時代のニーズは電気やガスのいずれかではなく、2つのベストミックスを実現することにあると当社は考えています。高い燃焼技術力が世界的に認められている当社は、将来のコジェネレーション時代に向けて、国内外の機関との研究開発プロジェクトに参画しています。また、愛知県の技術センターでは、500人の研究開発要員が、国内外各社の製品・技術開発に携わるとともに、燃料電池やコジェネレーションなど時代を先取りした技術開発に取り組んでいます。

当社グループは、引き続きお客さまの視点に立った魅力ある商品開発、顧客拡大を目指した積極的な営業提案、全社的な低コスト活動を推進し、収益力の向上に努めてまいります。

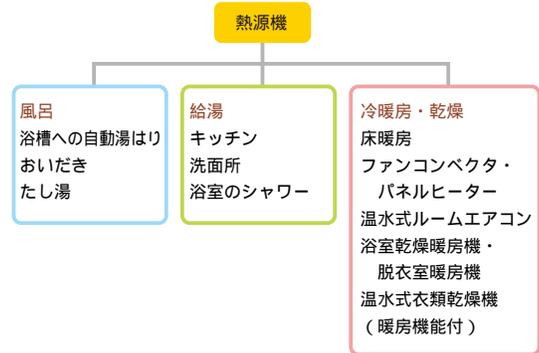
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 事業戦略のポイントと強み

## 1 システム商品

1台の熱源機が、家中の給湯、暖房を管理

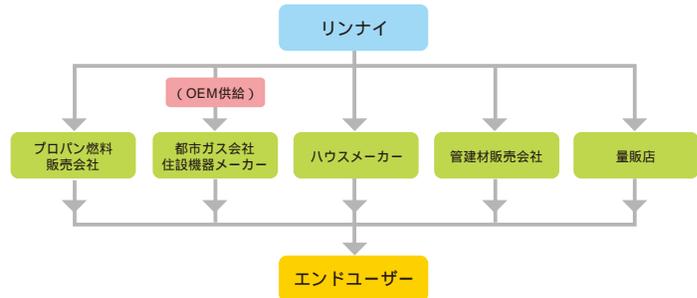
当社のガス給湯暖房システムは、1台の熱源機で給湯やお風呂はもちろん、床暖房、浴室乾燥暖房などの温水を利用した暖房まで管理できる、快適な住まいのトータルシステムです。今や、ガス機器は1年を通じて、快適な住まいにとって重要な役割を果たしています。また、厨房分野では、いかに快適なキッチンスペースを実現するかをテーマに、ハウスメーカーやシステムキッチンメーカーなどとの共同開発、連携を重視し、主要メーカーに多くの商品を供給しています。



## 2 多様な販売チャネル

エンドユーザーの身近で  
サービスを提供

都市ガス会社へのOEM供給や、ハウスメーカー、管建材販売会社と連携するなど多様な販売チャネルを活用し、エンドユーザーに密着した販売ネットワーク、設置・施工およびサービス体制を構築しています。



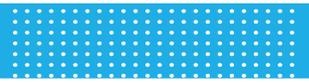
## 3 研究・技術開発力

ガス機器に不可欠なガス制御・燃焼技術をはじめ、  
各種先端技術を駆使

当社は、「熱」を通じて「快適な暮らし」を社会に提供していくため、ガス制御・燃焼技術および電子技術、センサー・ソフト技術、IT・通信技術の応用等の先端要素技術を核として、誰もが安心して安全にお使いいただける、省エネ・省資源・リサイクル等を追求した環境配慮型熱機器の研究開発を進めています。



内炎式の採用により、50%を超える高い熱効率を実現するエコマックスバーナー。



## 市場ニーズに対応した最近の人気商品をご紹介します。

高効率性

### あらゆるキッチンにフィットするスタイリッシュコンロ

モダンからトラディショナルまで、どんなタイプのキッチンにも合うように外観デザインをスクエア基調でまとめたビルトインコンロ。高効率の「新内炎式バーナー」を搭載し、調理時間の短縮とガス代の節約を実現しました。バーナー点火時には操作ボタンのまわりが赤く点灯し、点火・消火をはっきり確認できます。さらに、温度調節やタイマー操作のスイッチ類をワンプッシュで出し入れできるスライド式の操作パネルに納め、コンロ前面をすっきりさせました。



RSK-N78W4GD10X-SV



MV-S1200

### 迫力の12インチ大画面、洗練されたフォルムの浴室テレビ

業界最大、ワイドな12インチ画面の浴室テレビは、バックライト付で見やすいTFT液晶を採用し、朝や昼でもはっきりとした画像を映し出します。シンプルで洗練されたフォルムは、バスルームにもデザイン性を求めるお客さまに好評です。TV・FMラジオとともにステレオ放送に対応、サラウンド機能により、浴室内の反響に合わせて立体的で臨場感あふれるサウンドを楽しめます。DVDプレーヤーやビデオ等と接続できる外部入力端子もついています。

快適性

海外市場

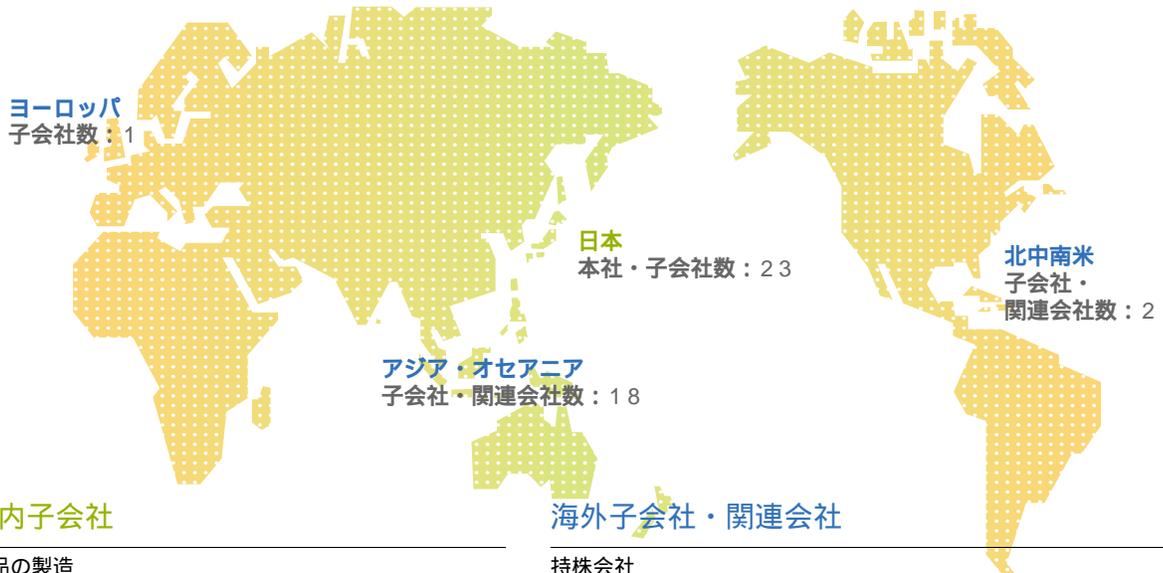
### 高負荷燃焼給湯器の普及が進む中国

中国では先止湯沸器が主要なガス機器として取り扱われ、そのほとんどが中国国内で生産されてきました。最近では、沿海都市部をはじめとして日本のユッコタイプのような高負荷燃焼給湯器が普及しつつあり、華北地方においてはコンボイラー（給湯暖房器）が導入され始めました。当社は中国を中期的な戦略市場ととらえており、北・中央・南と食文化が異なる地域ごとに仕様の異なる製品を展開するなど、戦略的に市場へのアプローチを展開しています。



## グローバルネットワーク

平成16年3月末現在、当社グループは、当社(リンナイ株式会社)および子会社39社(国内22社、海外17社)、ならびに関連会社4社(海外4社)、計44社で構成されています。



## 国内子会社

## 製品の製造

(株)柳澤製作所                      リンナイテクニカ(株)

## 部品の製造

アール・ビー・コントロールズ(株)  
リンナイ精機(株)  
アール・ティ・エンジニアリング(株)  
ジャパンセラミックス(株)      能登テック(株)  
テクノパーツ(株)                  アール・ビーテクノ(株)

## 製品の販売

リンナイネット(株)                  アール・ジー(株)

## 製品の販売および設置施工

リンナイテック札幌(株)              リンナイテック東北(株)  
リンナイテック東京(株)              リンナイテック新潟(株)  
リンナイテック中部(株)              リンナイテック北陸(株)  
リンナイテック近畿(株)              リンナイテック広島(株)  
リンナイテック九州(株)              九州ガス燃料(株)

## 損害保険代理業

リンナイ企業(株)

## 海外子会社・関連会社

## 持株会社

リンナイホールディングス(パシフィック)(株)

## 製品の販売

リンナイオーストラリア(株)              リンナイアメリカ(株)  
林内香港有限公司                      リンナイシンガポール(株)  
リンナイUK(株)

## 製品の製造販売

リンナイニュージーランド(株)              台湾林内工業股份有限公司  
リンナイコリア(株)                      上海林内有限公司  
リンナイタイ(株)                          伯陶リンナイ機器(有)  
リンナイインドネシア(株)                  リンナイマレーシア(株)  
リンナイベトナム(株)                      広州名海燃具電器有限公司

## 部品の製造販売

アール・ビー・コリア(株)                  アール・エス・コリア(株)  
上海燃宝控制器有限公司                  ラニーR・K精密(株)  
三国RK精密(株)

連結子会社  
非連結子会社

持分法適用関連会社  
持分法非適用関連会社

## ガラストップガスコンロが 平成15年度省エネ大賞を受賞

**「省エネ法」**で平成18年を目標に設定された省エネ基準を達成したリンナイの内炎式バーナー搭載ガラストップガスコンロが、(財)省エネルギーセンター主催の省エネ大賞で、省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。内炎式バーナーは、トッププレートの下から炎が出て、炎を内向きにトルネード(渦巻き状)燃焼させ、鍋底全体を素早く面加熱します。熱分布の向上により、少ないガス消費量でも調理時間は従来の外炎式バーナーと変わらないため、ガス代も節約できます。また、鍋底とバーナーの距離を広げることで実現した「極小トロ火」は、煮込み料理に最適です。リンナイは引き続き、ガスを最大限有効に活かすための製品開発を進めていきます。

省エネ法：正式名称「エネルギーの使用の合理化に関する法律」



## 大口サイト ゼロエミッション達成

**大口サイト**(大口工場および技術センター)において、平成15年度に廃棄物(産業廃棄物および一般廃棄物)の99%以上を再資源化しゼロエミッションを達成しました。平成14年度よりゼロエミッションに向けた活動を開始し、分別の徹底、再資源化方法の検討や再資源化先の調査等を行い、計画どおり達成できました。特に、ゴム・樹脂類および汚泥類の再資源化が課題でしたが、分別の徹底により、セメント補燃材としてのサーマルリサイクルやセメント原料として再資源化を図りました。今後は、廃棄物発生量の削減を継続して推進するとともに、大口サイトをモデル工場として、平成17年度をめどに他工場およびグループ会社すべてに展開していく予定です。



## 営業のご報告（連結）

### 連結財務諸表のポイント（単位：百万円）

当期 平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

前期 平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）

連結損益計算書	当期	前期	前期比 増減率(%)
売上高	200,094	189,685	5.5
売上原価	143,048	136,856	4.5
営業利益	16,272	13,173	23.5
経常利益	15,158	12,735	19.0
当期純利益	8,556	8,603	0.5
1株当たり当期純利益(円)	157.01	154.41	1.7

連結貸借対照表	当期	前期	前期末比 増減率(%)
総資産	194,959	183,872	6.0
負債合計	72,266	68,662	5.2
少数株主持分	4,014	4,341	7.5
株主資本	118,677	110,868	7.0

連結キャッシュ・フロー計算書	当期	前期	前期比 増減率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,054	16,845	4.7
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,192	10,522	25.4
財務活動によるキャッシュ・フロー	1	7,005	100.0
現金及び現金同等物の期末残高	36,493	33,529	8.8

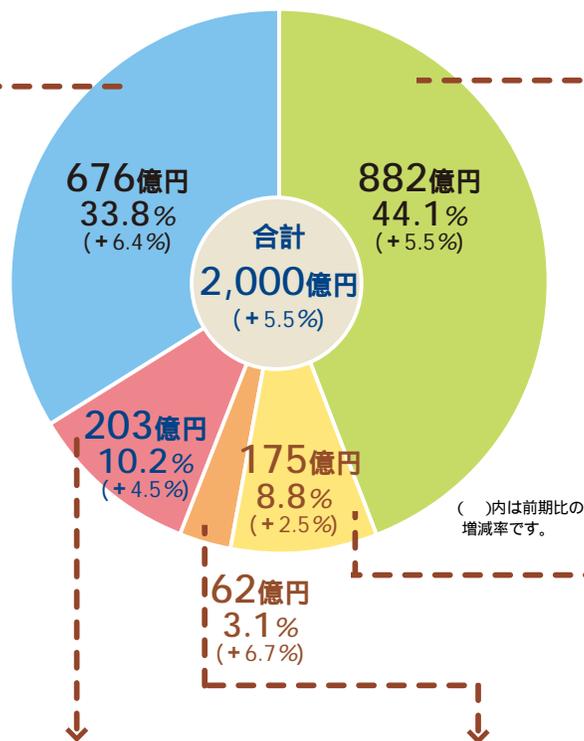
レシオ	当期	前期	前期比 増減ポイント
株主資本利益率(ROE)(%)	7.46	7.87	0.41
総資本利益率(ROA)(%)	4.52	4.72	0.20
売上高営業利益率(%)	8.13	6.94	1.19
株主資本比率(%)	60.87	60.30	0.57

### 厨房機器



海外では韓国の消費不況もあり前期を下回りましたが、国内では前期に引き続きガラスストッププレートと新内炎式バーナーを搭載したコンロが好評で期初計画を上回りました。また、食器洗い乾燥機等の新製品も順調でした。その結果、金額で前期比6.4%の増加となりました。

## 当期部門別売上高の構成



## 給湯機器

国内では、高効率、快適機能を実現し、より環境への配慮を充実させた風呂給湯器の新製品が新規、買い替えともに好評で、コンパクト化・軽量化に加え機能の充実を図った給湯



暖房機も順調に伸ばしました。海外では、オセアニアやアメリカおよび韓国を除く東南アジア市場が前期を上回り好調でした。その結果、金額で前期比5.5%の増加となりました。

## 空調機器

国内では、新製品のプラズマクラスターイオン(除菌イオン)技術を搭載したファンヒーターが好調でしたが、気候の温暖化もあり出荷は低位に推移しました。海外では、オセアニアやアメリカが順調に推移しました。その結果、金額で前期比2.5%の増加となりました。



## その他

国内では衣類乾燥機は前期並みでしたが、国内製造関連会社が扱っている各種部材の増加により前期を上回りました。海外は各市場とも低位に推移しました。その結果、金額で前期比4.5%の増加となりました。

## 業用機器

国内は前期並みに展開しましたが、海外では韓国市場において新製品を発売したことにより前期を上回りました。その結果、金額で前期比6.7%の増加となりました。

## 営業のご報告（単体）

### 貸借対照表（単位：百万円）

当期 平成16年3月31日現在）

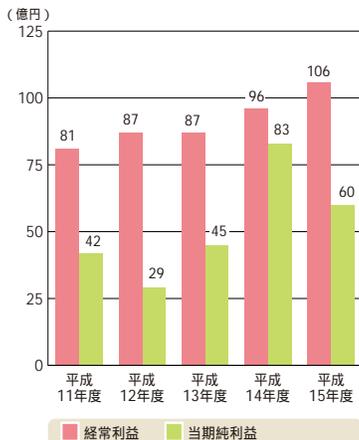
資産の部	当期	負債の部	当期
流動資産	81,020	流動負債	38,498
現金及び預金	4,997	買掛金	27,251
受取手形・売掛金	42,068	未払金	4,991
有価証券	16,364	未払法人税等	3,413
棚卸資産	15,368	賞与引当金	1,358
その他	2,290	その他	1,483
貸倒引当金	68	固定負債	4,742
固定資産	59,275	退職給付引当金	2,912
有形固定資産	22,274	役員退職慰労金引当金	1,650
建物・構築物	7,727	その他	180
機械装置	4,327	負債合計	43,241
工具器具備品	3,576		
土地	6,397	<b>資本の部</b>	<b>当期</b>
その他	244	資本金	6,459
無形固定資産	446	資本剰余金	8,719
投資等	36,554	利益剰余金	85,303
投資有価証券	15,463	（うち当期純利益）	（6,079）
関係会社株式	5,490	その他有価証券評価差額金	777
その他	16,116	自己株式	4,205
貸倒引当金	515	資本合計	97,054
資産合計	140,296	負債及び資本合計	140,296

### 損益計算書（単位：百万円）

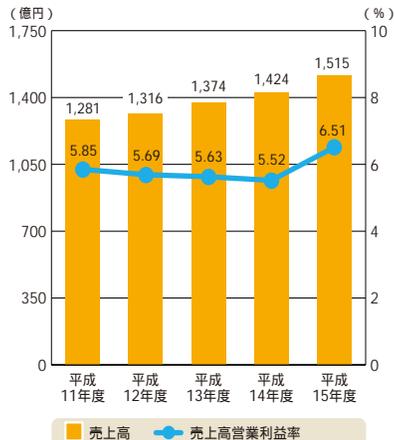
当期 平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

経常損益の部	当期
売上高	151,558
売上原価	116,435
販売費及び一般管理費	25,256
営業利益	9,866
営業外収益	1,124
営業外費用	339
経常利益	10,651
<b>特別損益の部</b>	<b>当期</b>
特別利益	203
特別損失	473
税引前当期純利益	10,381
法人税、住民税及び事業税	5,057
法人税等調整額	755
当期純利益	6,079

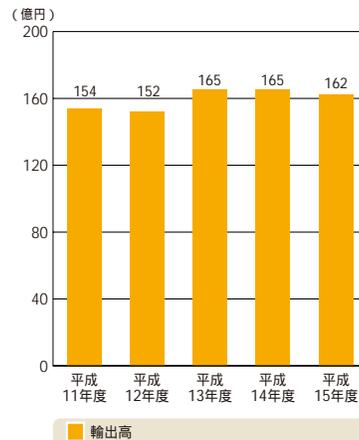
## 経常利益、 当期純利益



## 売上高、 売上高営業利益率



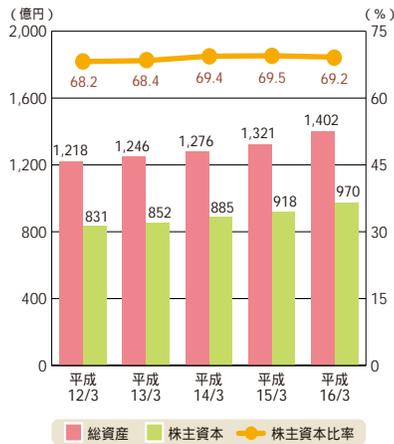
## 輸出高



## ROE、ROA



## 総資産、株主資本、 株主資本比率



## 設備投資額、 キャッシュ・フロー



注: キャッシュ・フローは、当期純利益と減価償却費の合計額から利益処分上の役員賞与・配当金などの社外流出分を差し引いた、いわゆる社内留保分です。

# 会社データ (平成16年3月31日現在)

## 会社概要

創 業 大正9年9月1日  
設 立 昭和25年9月2日  
資 本 金 6,459,746,974円  
本 社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26  
TEL 052-361-8211 (代表)  
従業員数 3,132名

## 国内ネットワーク

### 工場・センター

大口工場、瀬戸工場、旭工場、愛知工場、部品センター

### 研究所

技術センター

### 支社等

東日本営業本部、東北、中部、西日本営業本部、関西、九州

### 支店

札幌、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、静岡、名古屋、大阪、広島、高松、福岡

### 営業所・出張所等

北見、釧路、帯広、旭川、函館、青森、八戸、秋田、盛岡、弘前、山形、酒田、郡山、いわき、福島、上越、長岡、水戸、土浦、千葉、松戸、多摩、宇都宮、埼玉、所沢、越谷、高崎、太田、東京、横浜、厚木、横浜北、山梨、沼津、浜松、長野、松本、上田、富山、金沢、福井、豊橋、岡崎、愛知、高山、東濃、岐阜、三重、四日市、滋賀、奈良、和歌山、田辺、京都、福知山、神戸、姫路、岡山、鳥取、米子、松江、広島、福山、山口、下関、高松、松山、高知、徳島、北九州、佐賀、長崎、佐世保、大分、熊本、宮崎、鹿児島、大隅、沖縄

## 役員

代表取締役会長	内藤 進
代表取締役社長	山崎 善郎
常務取締役	成田 常則
常務取締役	増岡 鋼造
常務取締役	宮田 務
常務取締役	林 謙治
常務取締役	内藤 弘康
取締役	森田 豊
取締役	岩田 武四
取締役	長坂 隆
取締役	小杉 将夫
取締役	吉田 雄三
取締役	小澤 敏典
取締役	祢津 忠信
取締役	北川 智彦
取締役	佐々木 静夫
取締役	箕浦 勝支
監査役(常勤)	和里田 勝弘
監査役(常勤)	後藤 靖彦
監査役	堀 紀代志
監査役	矢崎 健

(注)監査役の矢崎 健は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

# 株式の状況 (平成16年3月31日現在)

## 株式構成

### 株式の総数

発行する株式の総数

200,000,000株

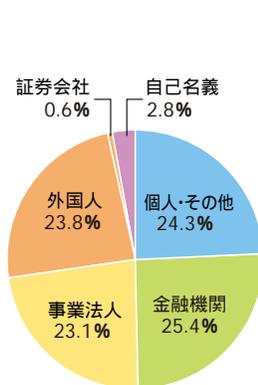
発行済株式数

55,787,463株

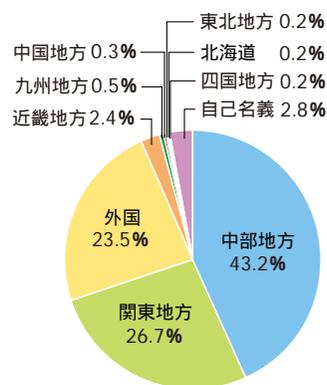
株主数

4,282名

### 所有者別株式分布



### 地域別株式所有分布

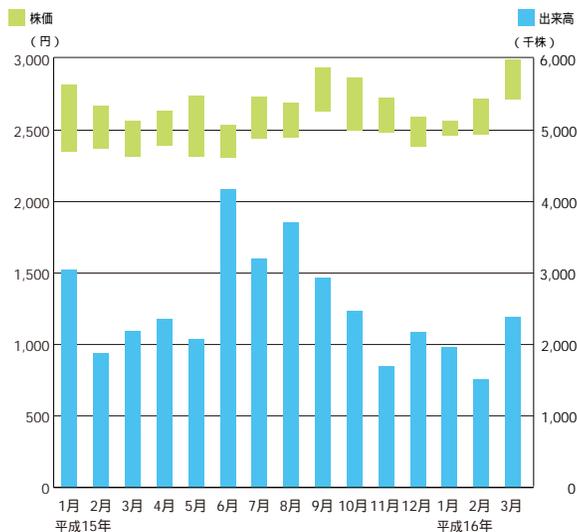


## 大株主

株主名	持株数(千株)
内藤株式会社	5,415
株式会社好兼商事	4,002
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,667
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー)	
サブ アカウント アメリカン クライアント	3,106
内藤 進	2,777
林 謙治	2,752
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,742
メロン バンク トリーティー クライアンツ オムニバス	1,631
内藤紀子	1,060
日本生命保険相互会社	1,033

(注) 当社は自己株式1,590千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

## 株価の推移



## 株主メモ

### 決算期

毎年3月31日

利益配当金は毎年3月31日現在の株主に、  
中間配当金は毎年9月30日現在の株主に支払います。

### 基準日

(1) 毎年3月31日

(2) その他、必要ある場合はあらかじめ公告いたします。

### 1単元の株式の数

100株

### 公告掲載新聞

日本経済新聞

### 貸借対照表ならびに損益計算書の ホームページアドレス

[http://www.rinnai.co.jp/ir/main\\_ir.html](http://www.rinnai.co.jp/ir/main_ir.html)

### 名義書換代理人

中央三井信託銀行株式会社

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

### 同事務取扱場所

中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部

〒460-8685 名古屋市中区栄3-15-33

TEL 052-262-1520(代表)

### 同取次所

中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および  
配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理  
人のフリーダイヤル 0120-87-2031で24時間受付  
しております。

### 株式の上場

東京および名古屋証券取引所 市場第1部

## 当社ホームページのご紹介

### IR情報

[http://www.rinnai.co.jp/ir/index\\_ir.html](http://www.rinnai.co.jp/ir/index_ir.html)

株主・投資家の皆さまへ最新財務データ、決算短信、  
株価データ等をご提供します。

